



地域交流班

建築環境科

岩嶋 菜緒	熊谷 愛花
佐藤 天咲	高澤 迫斗
早川 麻衣	古内 聖也
山岸 圭翔	

～活動・目標～

上越市の地域活性化事業

上越市南本町三丁目の地域活性化事業に
参加・協力し、提案をする

私達地域交流班の活動目標は上越市の地域活性化事業は、数年前から先輩方が行っているもので、その活動を引継ぎました。上越市南本町三丁目の地域活性化事業に参加・協力し、そして今後よりよい地域になるための提案をする。

上越市の地域活性化事業について



大正時代の街並み



現在の街並み

上越市の地域活性化事業についてですが、まず、私達は上越市の歴史と南本町三丁目について調べ、学びました。

写真をご覧ください。左側が大正時代の上越市で、右側が現在の上越市の街並みです。大正時代の風景が現在でも残っていることが分かります。このように、昔ながらの街並みが残っているのは、とても貴重なことです。

建物の改修・新築を行う際は、
ぜひ上越市／南本町三丁目景観づくりの会にお声がけ下さい！

◎景観色彩ガイドラインの活用イメージ

個々の主張が強く、まとまりが感じられないまちなみ



穏やかな基調色により連続性の感じられるまちなみ



私達が携わる南本町三丁目では、建物の改装・新築を行う際、街並みの統一感を図るために穏やかな基調色を使っています。また、雁木に合う文字や色、素材などにも配慮していると伺いました。この資料をみると、地域全体で町づくりに力を入れて協力していることが分かります。



実際に行っている取り組みは、室外機とアルミサッシを格子で目隠しし、壁・屋根・柱をこげ茶色に塗装することで魅力ある街並み・景観づくりにすることです。

南本町三丁目地区のまちづくり これまでの取り組み

地域の方々が自ら・協働し、魅力あるまちなみ景観づくりに取り組んでいます！



お問い合わせ・ご相談先

南本町三丁目景観づくりの会 (025-524-8735)

地域の方々が、自ら協働していることを知り、自分たちのまちへの想いがとても強く、とても仲の良い町内だと感じました。

去年の活動



こちらは、昨年度の活動です。南本町三丁目の子供達との製作活動や雁木の修繕、スロープの作成などをしていたそうです。私達のその活動を引継、今年度も様々な事に協力しました。

今年度の活動内容・作品

1. まち歩きと調査
2. 影絵の製作と展示
3. 青田川灯りロードイベントの手伝いと参加
4. 雁木通りに設置する格子の塗装
5. 今後のまちづくりの提案

今年度の活動内容と作品は、1.まち歩きと調査、2.影絵の製作と展示、3.青田川灯りロードイベントの手伝いと参加、4.雁木通りに設置する格子の塗装、5.今後のまちづくりの提案です。

では、1つずつ紹介していきます。

まち歩きと調査



まず、まち歩きと調査です。

まち歩きと調査は、5月に行いました。実際に南本町三丁目を歩き、歴史を感じてきました。



大イチョウの木 芭蕉の句碑



中でも印象にのこっているのは、最賢寺(さいけんじ)の境内にある、樹高23mの大(おお)イチョウの木で、これは市の文化財に指定されているそうです。
また、正輪寺(しょうりんじ)にある、芭蕉の句碑(くひ)も見ってきました。句碑は県内にあるものの中で最も古いそうです。この句は、芭蕉が武士達の花見を通りすがりに見て詠んだものと言われていて、1763年に地元の南本町の俳人で芭蕉の孫弟子によって建てられたそうです。



また、高橋孫左衛門商店様の2階に上がらせていただき、歴史的な建物と文化財を拝見させていただきました。なかなか見ることの出来ない、貴重な体験をすることが出来ました。

影絵の製作と展示



次に、影絵の製作と展示です。昨年先輩方も行っていた、影絵製作ですが、街並みが華やかになるように、そして暗くなった夕暮れの街並みがより華やかになりようにという想いで影絵の作成をしました。

今年度も、昨年度と同様に竹内電気店様とトキワインテリア様の倉庫に影絵を展示しました。



採寸・取り外し



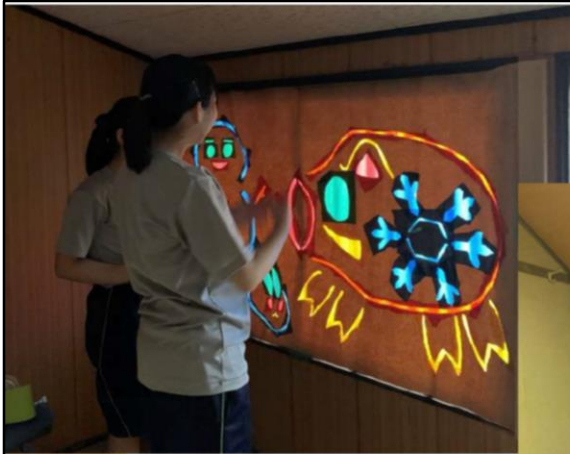
昨年度の先輩方が作成した影絵を取り外し、採寸し、今年度はどのようなデザインすると地域の方に喜んでもらえるか、みんなで案を出し合い話合いをしました。

製作



話し合いの結果、縁起の良い十二支の動物と四季をテーマにして影絵を製作することにしました。縁起の良い動物にすることで、町内の活性化と繁栄に繋がって欲しいという願いもあります。影絵は、段ボールと色つきのフィルムを使って作成しました。

取り付け



取り付ける際は、バランスよく、外から見たときに格子で隠れないようにと考えながら設置しました。取り付け時期が8月だったので、とても暑く大変でしたが、町内の方々に喜んで欲しいという想いで必死でした。

完成作品



左の写真は、秋をモチーフにした猿です。一見普通の猿のようにも見えますが、よく見ると鼻やほっぺに紅葉がついています。そして周りには秋の食べ物や植物がたくさんあります。ただ単に植物に色を付けるのではなく、ところどころに模様をつけたり色を変えたりして、より現実になくなるように再現しました。

右の写真は、春をモチーフにしたネズミです。桜の花びらを多くすることで、桜が舞っている様子を再現しました。特にこだわったところは、桜の大きさです。選んだ動物がネズミだったので、ネズミの小ささでは迫力が出ないと思い、桜を大きくして他の影絵に身劣りしないよう心がけました。

このように、動物と季節をうまく組み込んだ影絵を8種類製作し、夕暮れには室内の電気をつけてライトアップしていただいています。スペースの関係で十二支すべての動物は製作出来ませんでした。地域の方々から何度も綺麗と褒めていただきました。

青田川灯りロードイベント



次に青田川の灯りロードイベントの手伝いと参加です。

8月21日に南本町三丁目で行われた雁木と青田川灯りロードというイベントの手伝いをし、参加しました。このイベントは毎年行っている地域のイベントだそうです。



準備



まず私達は、地域の方々と一緒に準備をしました。夕暮れに青田川に流すLEDランプ約500個に電池を入れる作業と、地域の方が作成した竹灯籠の設置を行いました。



イベント会場のひとつであるトキワインテリア倉庫の空きスペース会場の準備をし、暗くなると足下が見えなくなるので、危険防止の為に、お年寄りの方でも気軽に入れるようにスロープの設置をしました。



イベント開始



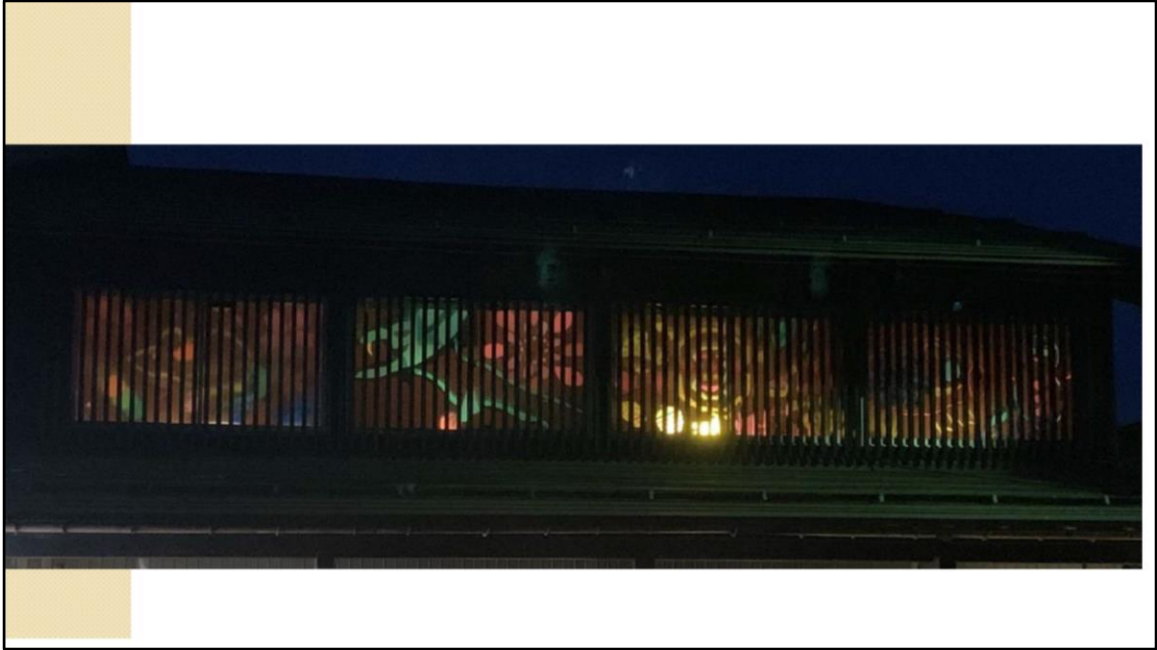
イベントが開始してからは、地域の皆様の前で、イベントに間に合うように制作した影絵のコンセプトを発表させていただきました。日が暮れてから行ったLEDランプの灯籠流しはとても美しく感動しました。地域の子供から大人まで、みんなが集まりイベントと楽しんでいました。



日が暮れてからの 風景



町全体が一体感となり、とても温かい雰囲気にもまれていました。コロナ禍ということで、準備は少人数で行い、とても大変でしたが、地域の方々が喜んでくださっていたので頑張った甲斐がありました。



イベントに合わせて制作した影絵も綺麗にライトアップされていました。

雁木通りに設置する格子の塗装



次に、雁木通りに設置する格子の塗装です。10月に南三世代交流プラザで地域の方と一緒に行いました。



まず、格子を塗る際に使う塗料で周りが汚れないようにシートを張りました。この塗料は南本町三町目の皆様が地域をより良くしようと、お金を出し合って買ったそうです。その塗料を、刷毛(はけ)を使って格子に均等に塗り、木目を出すために布を用いて塗料を拭き取るという作業を3回繰り返しました。



手間をかけることで、街並みの景観を損ねない良い雰囲気の色合いになりました。地域の景観に合わせて焦げ茶の塗料を使用したことで、雁木通りだけでなく、町内全体が統一感のある街並みになると嬉しいです。



完成した格子を乾かし、設置は地域の方が後日行う事になりました。今回の作業は、人手が必要だったので、左官班の数名も手伝ってくれました。地域の方と協力しながら作業をしましたが、改めて地域の方の町内の想いがとても強いと感じ、より協力したいという想いになりました。

今後のまちづくりの提案



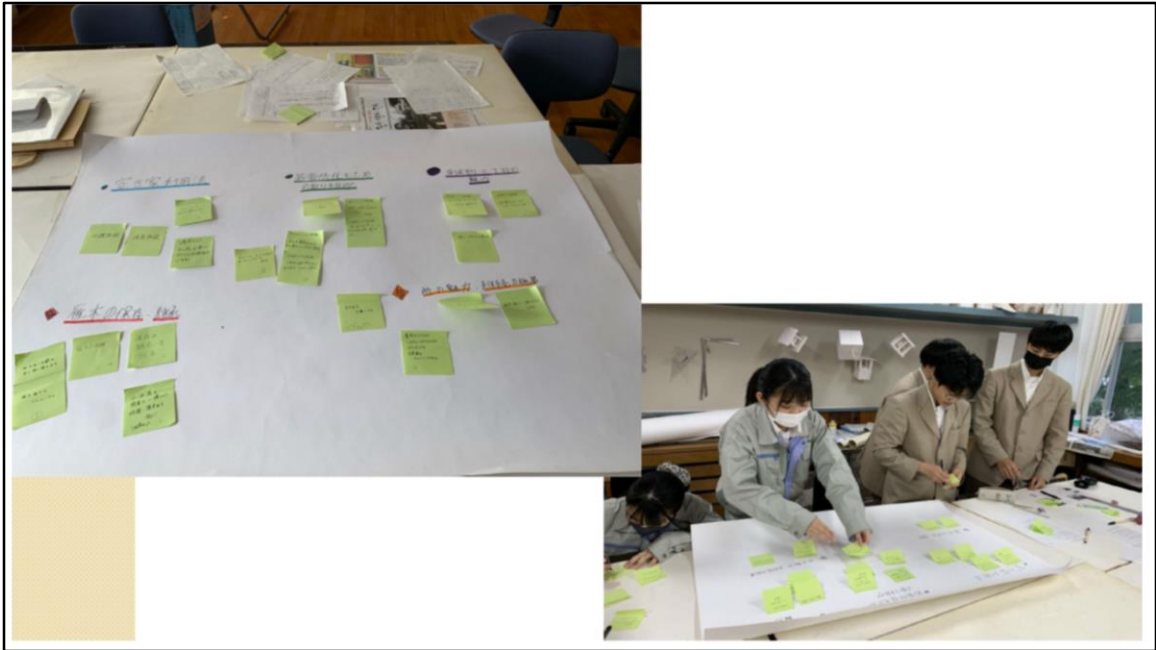
その他に5点目として、今後の町づくりの提案を行うことにしました。

昨年度までは、1年という短い期間のなかで行っていたこの班の課題研究を、今年度の活動を土台として来年度の後輩達の活動に、このまちづくりの提案を繋げたいと考えました。具体的には、私達の提案を更に具体化させ、南本町三町目の理想の未来のまちを模型化すると面白いと考えました。2年生の皆さん、よろしくお願いします。

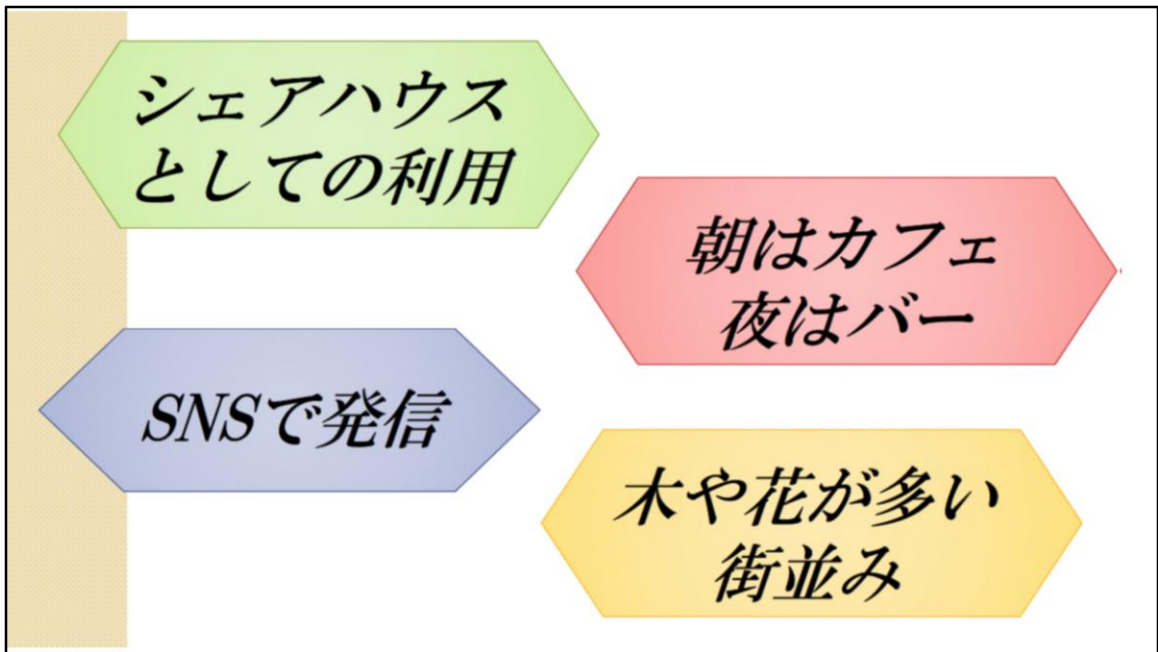
検討事項

1. 増えている空き家の利活用方法は？
2. 若い人が住みたくなるためには？
3. 魅力あるまちになるためには？
4. 雁木の保存・継承方法は？
5. 将来、住みやすく魅力あるまちとして継続するために必要な施策は？

私達の検討事項は、南本町三丁目の増えている空き家の利活用方法は何か。若い人が住みたくなる為にはどのような取り組みが必要か。魅力あるまちになるためには、どうしたら良いか。雁木の保存、継承方法どうしたら良いか。将来、住みやすく魅力あるまちとして継続するためにどんな対策が必要か。この5点について話し合い、提案を始めました。



まずはそれぞれが検討事項に対して、自由に意見を書き出し、その後話し合いながらそれぞれをベスト3まで絞りました。今回は、時間の関係上、全ては紹介出来ませんが、後輩の皆さんには、この提案を更に具体化させて欲しいと思っています。



私達は考えた提案は、シェアハウスとしての利用、朝はカフェ夜はバーというように、空き家に若者は集まるような施設をつくることです。最近では1人暮らしの人が多くなる中で、家賃が高いという問題を抱えている人が多いと思います。若い人のためにも、空いている家をシェアハウスにするという意見が多く出ました。また、昼も夜も賑わうお店があれば、若者や仕事帰りの方も立ち寄り、活気あふれるまちになると考えました。

次に、まちの良さを知って貰うために、SNSで情報を発信し、更にまち全体に木や花を増やし、観光としても訪れたいくなるようにと考えました。カフェ等の感想や、公園などの休憩場をSNSで発信することで集客に繋がります。

通りに街灯を
増やす

雁木通りの
こまめな修繕

子供達用
ものづくりイベント

小・中・高の授業で
雁木の修理と歴史を学ぶ

また、まちには街灯を増やすことで安全で華やかさが増し、雁木通りが更に魅力的になると考えました。南本町三丁目は日が暮れてからも安全に歩くことができ、仕事帰りや学校帰りも安心して帰宅することが出来ます。

さらに子供達用のものづくりイベントを頻繁に開催することで、町内の子供達だけではなく、近隣の子供達も参加し、賑わう町内になることを考えました。クリスマスやハロウィンのイベントで作品を制作し、その作品を展示することで人が集まり、季節に合った雁木通りになると考えました。

そんな雁木を維持し、次の世代に繋げるために、こまめな修繕が必要だと思います。古くなった物を壊すのではなく、あくまでも修繕という形で、昔からある姿を残しつつ綺麗にする事を考えました。

そのために、小さい頃から雁木について学ぶため、小・中・高の授業の一環で雁木の修理と歴史を学んだら良いのでは、という意見がありました。小学生の頃から雁木の魅力や歴史を伝えて、自発的に雁木の保存に協力したいと思って欲しいと思います。

現実的には難しい事もあると思いますが、高校生の発想として考えた提案です。この意見と提案を、町内の方やプロの建築士の方に聞いて貰い、意見を頂き、更に提案を練っていきたくったのですが、つづきは後輩の皆さんに託したいと思います。

感想 考察



【岩嶋菜緒】

私は課題活動をとおして、地域の方のまちを盛り上げるための頑張りを知ることができました。また、建築への興味がつよくなりました。

【熊谷愛花】

まちづくり活動は、地域の方々と協力して活動するだけでなく、自分たちで案を出したり協力し合うことで協調性や自主性が身に付きました。

【佐藤天咲】

細かい作業が多く大変でしたが、イベントを成功したときは達成感を感じられました。学校で学ぶこと以外にもたくさん学ぶことができました。

【高澤迫斗】

みんなと盛り上げるためにどうしたらよいかを考えたり、影絵製作で試行錯誤をする時間は充実した時間になりました。

【早川麻衣】

自分の住む地域を住みよい町にしたいのはこの班を選んだ私もそうなので皆さんと話が合い、私の話を理解しながら聞こうとしてくださるので、お話をする時間がとれたときは充実した時間が過ごせました。

【古内聖也】

今回の課題研究を通して南本町三丁目の地域をよりよくするために、どうすればいいかと考えながら、たくさんの活動ができ地域に貢献することができました。

【山岸圭翔】

影絵の作成やスロープ作りなどの会場の準備をし、特にLEDの準備では、地域の方々と交流しながら取り組み、普段経験できないような体験をさせていただきました。